

3つの感染経路

■ 接触感染

- ・ 咳やくしゃみの飛沫、鼻水などの付いた手で、目をこする、鼻口を触ることで感染。
- ・ 器物（不特定多数の人が頻繁に触る場所）を介した感染もあり得る。
- ・ 対策：目、鼻、口に触る前の手洗い、手指消毒。

■ 飛沫感染（新型コロナの主感染経路）

- ・ 咳やくしゃみの時に飛び散る飛沫を介した感染（半径1～2m）。
- ・ 対策：距離をとること、マスクと目の防護（フェイスシールド、ゴーグル）。

■ 空気感染

- ・ 飛沫の水分が蒸発し、空中を浮遊する小さな粒子（飛沫核）となって感染。
- ・ 新型コロナ感染症で、空気感染の位置位置付けは十分わかっていないが、近距離ではおこり得る（大声を出す、歌う、マスク無しの咳・くしゃみはリスクが高い）。
- ・ 対策：換気を良くする、距離を取る。

クラスターとその対策

■ 新型コロナウイルスは、人から人に感染する効率はそれほど良くない（基本再生産数）。

- ・ 8割の人は二次感染を起こしていないが、一部の人が多数に感染させている。
- ・ SARSやMERSでも見られた“スーパースプレディング現象”≒クラスター。

■ クラスターは、似通った環境の中で発生している。いわゆる「3つの密」

- ・ 換気の悪い密閉空間
 - ・ 多数が集まる密集場所
 - ・ 間近で会話や発話をする密接場面
- } を避ける

新型コロナの手強い点

- 発病する前（2日くらい前）からウイルスを多量に排泄
 - 症状の軽い人も多い（自他ともにコロナとわからない）
 - 新型コロナは、発病してからマスクを付けていたのでは遅い
 - 皆でマスクを付けるのが賢明（ユニバーサルマスク）
- } 誰がウイルスを出しているかわからない

検査でわかること

- PCR検査
 - 迅速抗原検査
 - 抗体検査 … 「かつて新型コロナにかかったことがある」ことがわかる。
- } 検査のときウイルスを出している人だけが見つかる